

今を未来に

学ぶことが楽しい学校 だいすき・つながる・じっくり・やってみる・すこやか・まなぶ



運動会テーマ

「全校で 笑顔の花火を 打ち上げよう！」 を達成させよう

今年の運動会のテーマは、「全校で 笑顔の花火を 打ち上げよう!」です。

「笑顔の花火」とは、どんなことでしょう。



徒競走で、目標の着順になること。団体競技で、勝利すること。力いっぱい表現すること、技を成功させること。そして、目標に向かって、力いっぱい、最後までやりとげようと取り組むこと。なかまと力を合わせて取り組んだり、なかまを精いっぱい応援したりする姿こそが笑顔の花火なのだと思います。

この笑顔の花火を、個人や学級や学年だけでなく、全校で打ち上げるのが今年のテーマです。まわりの友達、他の学年の人の思いや願いを想像し、それらが叶うように、なかまとともに取り組むのです。



たいへん暑い9月でしたが、それぞれの目標達成に向けて、みんなで取り組んできました。今の自分やクラス・学年を見つめ、なかまとともに、考え行動してきたことが、みんなを大きく成長させてくれます。

残りわずかとなりましたが、最後まであきらめず、自分にできることを力いっぱいやってみる。なかまとともに、ワクワク、やってみる。そして、最後に、自分で、自分たちで、やりきったあ!と言える運動会にしましょう。全校で、笑顔の花火を打ち上げる、素晴らしい運動会にしましょう。



PTA 除草作業 9月7日



たくさんのPTAの方に運動場や校舎周りの除草作業、役員の方には溝の土あげ等もしていただき

ました。熱中症対策から例年より30分早く集まり、作業時間を確保したおかげで、運動会の練習等に取り組めるよう学習環境を整えることができました。別日にしていただいた方もみえました。誠にありがとうございました。感謝の気持ちを込め、運動会に精一杯取り組みたいと思います。



子どもたちも、5・6年生だけでなく、いろいろな学年の人が参加し、集まった草の袋積極的に運ぶ高学年の姿も見られ、感心しました。自分たちで使うグラウンドを自分たちで整備しようとするのも大切にしたいですね。



5年 稲刈り体験 9月6日

今年は、例年以上に暑く、稲穂が十分に実らないことも心配されていましたが、保々の自然に親しむ会の方のおかげで、しっかりと実っていたようです。この日も、たいへん暑く、熱中症対策をしっかりと行いながらの体験となりました。



稲穂の刈り方、刈った稲穂の束ね方などを教えていただいた後、稲刈り体験に取り組みました。

また、千歯こき、足踏み脱穀機、唐箕など昔の農機具を使った脱穀

にも挑戦しました。子どもたちが生き生きと取り組む姿、やり方を教え合ったり、協力したりする姿が毎年見られます。



親しむ会の方のおかげで、今年も、地域の方と、なかまとともに、すてきな「やってみる」に挑戦した5年生。親しむ会の皆様、たくさんの準備・ご支援、誠にありがとうございました。

親しむ会の方が来校された日、稲刈り体験のお礼を伝えました。「かまで稲刈りをしたのが心に残りました」「昔



の道具を使って、脱穀したのがよかったです」などの感想とともにお礼のことばとカードを渡しました。感謝の気持ちを伝える。これも、大切な経験です。

5年 粃摺り見学 9月20日

稲刈りをしたお米の粃摺りの様子を見に、いつも栽培活動でご指導いただいている齋藤農場へ行きました。



機械で粃摺りする様子を見学しました。

今年の学習田の収穫量は、232kg。お世話していただいた親しむ会の方に感謝です。

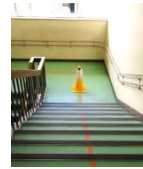
三重県で作られているお米や三重県生まれのお米の品種や、齋藤農場での米作りについてなど教えていただきました。5年生からの質問にも答えていただきました。ありがとうございました。



収穫したお米を使って、家庭科でご飯を炊く学習をし、自然教室では飯ごう炊さんにチャレンジです。

避難訓練 9月17日

地震発生後に火災が起き、放送機器が使えない中での避難の仕方について訓練しました。拡声器の声を合図に避難をしました。また、階段



の天井が崩れたため

に使えない箇所を設け、高学年は、いつもと違う避難経路で避難しました。少し時間はかかりましたが、子どもた



ちは、おさない かけない しゃべらない もどらないを守って避難

することができました。朝方の雨でたいへん蒸し暑い訓練となりましたが、子どもたちは担当の先生をしっかりと聞いていました。

私からは、8月の日向灘沖での地震の時を振り返り、備えをしておくことの大切さを話しました。

- ・3日分の食料・飲料水・生活必需品。
- ・避難するとき、玄関などよく目立つところに置いておく。

地震は、いつ、どこで、起こるかわかりません。登校途中で、地震が起きたとき、どのあたりだったら家に引き返すのか、それとも学校へ向かうのか…。通学路での危険なところはどこなのか。いろいろな場面を想定し、ご家庭でも、ぜひ話し合ってみてください。

